

11月24日[土]・25日[日]

信州大学人文学部

11月24日[土] 口頭発表・ワークショップ
11月25日[日] 公開講演、ポスター発表、公開シンポジウム

11月25日[日]

公開講演・公開シンポジウム
(どなたでも聴講できます)

公開講演
9:30～11:45 全学教育機構第1講義棟2階 20番講義室

音韻論と音声学を 結んで

Laboratory Phonologyの動向と展望

近藤 真理子 (早稲田大学)

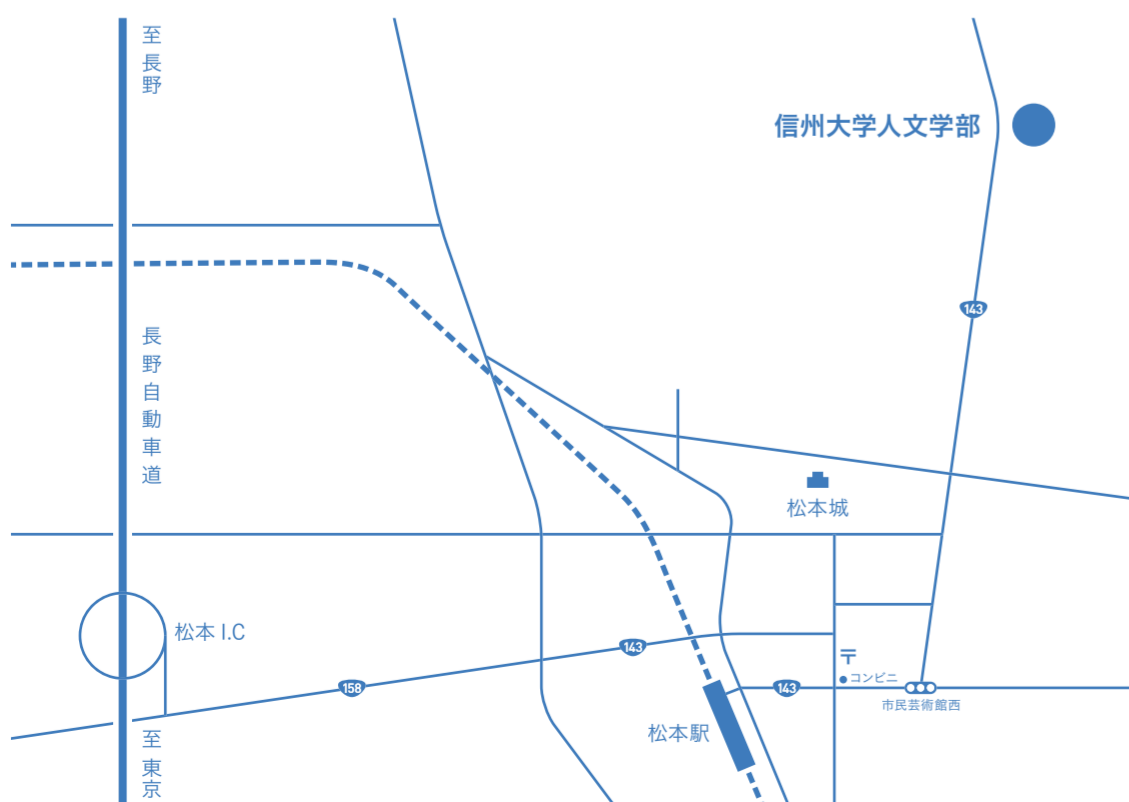
方言文法研究の 動向と展望

渋谷 勝己 (大阪大学)

公開シンポジウム
13:10～15:40 全学教育機構第1講義棟2階 20番講義室

否定と言語理論

発題——加藤 泰彦 (上智大学)・今仁 生美 (名古屋学院大学)
吉村 あき子 (奈良女子大学)
司会——三藤 博 (大阪大学)



会場——信州大学人文学部 (長野県松本市)
松本電鉄バス (浅間線・浅間温泉行き)「大学西門」下車

日本語学会

The Linguistic Society of Japan

第135回大会

11月24日[土]

口頭発表・ワークショップ
13:00～18:00 全学教育機構南校舎1～3階

口頭発表

- 非意図的な出来事における他動詞使用と「責任」意識——吉成祐子ほか
- 日韓語の動詞複合形成モデルの構築——李忠奎
- 韓国における外来語の使用実態と受容要因——梁敏鎬
- 韓国語慶尚道方言の外来語アクセント再考——窪園晴夫
- 中国語における目的語の「特定性」と語順制限——徐佩伶
- 日本語の直示的複数表示「たち」——金子真
- 現代日本語における多重否定極性項目構文について——朴江訓
- 「誰も何も食べなかった」——中村ちどり
- 日本語の目的語コントロール構文と目的語転位——船越健志
- 日本語における「顕在的」長距離繰上げ——水口学
- 日本語軽動詞構文におけるカタ名詞化——内芝慎也
- 根源的モダリティと認知的モダリティの統語構造——秋庭大悟
- 素性的一致とそのタイミング——依田悠介
- 弱フェイズにおける素性の引継ぎについて——石川弓子
- 日本語の“認知的「と」節”構文について——浅田裕子
- 日本語に於ける動詞句削除の欠如とその帰結に関する覚書き——星浩司
- ゲルマン諸語の非制限節における関係節化詞のタイプと関係節の派生・構造——稲田俊一郎
- Extraction from infinitival clauses in Ulster Irish——Dónall P. Ó BAOILLほか
- The internal structure of quantified phrases, focus reading, and scrambling in Japanese——NAKAMURA Koichiro
- 現代日本語の主格・属格交替のANOVA分析——牧秀樹ほか
- 状態動詞と形容詞の意味構造の違い——松江夏津紀
- 英語におけるTough構文、中間構文にみられる動詞の意味的性質について——金澤俊吾
- 「intoを伴う到達経路表現」について——松山哲也
- 反義性に関する認知意味論的考察——松本曜
- シダーマ(シダモ)語の格のシステム——河内一博
- シンハラ語の動詞分類と動詞の形態的特徴の関係——ディルクシ・ラトナーヤカ
- 台湾ブヌン語の、「望ましくない状態」を表す形容詞の派生に用いられる接頭辞 matu- ——野島本泰
- バンティック語とタラウド語のヴォイスシステムの比較——内海敦子
- 保安語積石山方言における指示詞の現場指示用法について——佐藤暢治
- 満洲語文語の三人称代名詞——山崎雅人
- カドリ語における重複的構造——稲垣和也
- ブルシャスキー語の反響語——吉岡乾
- 指示詞から感動詞へ——岩田一成
- 副詞としての「普通に」の用法について——大野早苗
- 「たちまち、あっという間に、またたく間に」の意味分析——李澤熊
- 前提条件操作におけるアコモデーションの限界——首藤佐智子
- アカン語の名詞の声調——古閑恭子
- 連濁の形式的アナロジーモデル——浅尾仁彦
- 聴取条件が閉鎖音・摩擦音の知覚しやすさを与える影響について——竹安大
- 岩手県遠野方言の推量・意志表現——高田祥司
- 琉球語のクリティック——下地理則
- 補助動詞「おく」の非意志的用法の3構文——山部順治
- 放っておけない「V-テオク」構文——バルデシ プラシヤント
- I think ~p. と I don't think p. の習得順序について——森貞
- The effects of transparency and context on L2 idiom interpretation——Priscilla ISHIDA
- Differences in discourse comprehension strategies for L2 (second language) Japanese as employed by pair-matched L1 (first language) Chinese and Korean speakers——TAMAOKA Katsuoほか

ワークショップ

- 「解放的」語用論の展開——母語話者視点からのチャレンジ——藤井洋子、堀江薫、金明姫、片桐恭弘、菅原和孝、井出祥子
- 否定呼応現象から探る日本語文構造の特質——理論研究と歴史研究から見えるもの——片岡喜代子、江口正、宮地朝子、衣畑智秀

11月25日[日]

ポスター発表・特別展示

11:30～13:10 全学教育機構南校舎2階

ポスター発表

- シダーマ(シダモ)語の関係節の形成のパターン——河内一博
- 日本語における右方転移構文と分裂文の機能——中川奈津子ほか
- 限界性による「V+かける」構文の分析——張楚榮
- 自動言語判定手法の開発とそれを利用したインターネット上の言語分布に関する調査——児玉茂昭ほか
- 「が・の・を交替」が可能な文の助詞の選好性の調査——藤原崇

特別展示

- ニヴフの現在(いま)——金子亨
- ダバ語の方向接辞——白井聡子
- チノ語悠楽方言の動詞複合形式——林範彦
- 琉球語宮古池間方言の動詞の時間・様相特性——林由華

詳細は日本語学会ホームページへ

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/lsj2/>